

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年3月27日
研究・研修課題名	臨床検査士資格認定制度 緊急臨床検査士資格試験
研究・研修組織名(所属)	検査部
研究・研修責任者名(所属)	吉田有里(検査部)
共同研究・研修実施者名(所属)	吉田有里、服部結子、藤原宇志(検査部)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	吉田有里、服部結子、藤原宇志(検査部)
学会名(会期・場所・認定名等)	緊急臨床検査士資格
演題名・認証交付先等	日本臨床検査同学院
取得日・認定期間等	2018年9月2日

目的及び方法、成果の内容

①目的

臨床検査士資格認定制度・緊急検査士資格試験を受験し、緊急臨床検査士資格取得を目指す。緊急臨床検査士とは、日本臨床検査医学会および日本臨床検査同学院の責任と基準において、臨床検査技師の学識技術を認定することを目的とした資格である。今回、資格試験を受験する過程で知り得た知識や技術を日常業務および日当直業務に生かすことを目的に、緊急検査士資格取得を目指す。

②方法

平成30年7月14日(土)、15日(日)に九州大学において実施される筆記・実技試験を受験した。

- 筆記試験、筆記実技試験：平成30年7月14日(土)

受付開始 : 13時00分
 集合時間 : 13時30分
 注意事項説明 : 13時45分
 筆記試験 : 14時00分～14時45分
 15時00分～16時00分
 実技試験説明 : 16時00分～16時30分

- 実技試験：平成30年7月15日(日)

受付開始 : 8時45分
 集合時間 : 9時15分
 全体説明等 : 9時15分～9時30分
 試験会場で移動 : 9時30分～9時45分
 実技試験 : 9時45分～12時30分
 受検者解散 : 13時15分

③成果

- 試験内容

- 筆記試験

筆記試験は、一般、生化学、血液、輸血、微生物、生理の分野について選択方式(5択)、20問出題された。

- 筆記実技試験

一般、生化学、血液、生理の分野について出題された。
一般：尿沈渣写真問題数問、計算盤で髄液細胞数カウント(画像)
生化学：生化学の検査データの提示あり、考え得る病態など記述
血液：血液像写真問題、赤血球恒数の計算および貧血の分類など
生理：心電図画像問題数問

▶ 実技試験

一般、生化学、血液、輸血、微生物、生理の分野について実技試験が行なわれた。
一般：髄液の性状判定、染色および鏡検（ピント合わせまで）
生化学：用液の希釈計算および希釈実技
血液：抹消血塗抹標本作成(スライドの作成数は3枚以内で、一番良いものを提出する。4枚目以降は減点)
輸血：血液型検査、交差適合試験の実技(制限時間あり、試験管やスポイトなどの個数制限あり)
微生物：標本の鏡検2題および筆記（選択問題5問）
生理：心電図測定

試験内容は、筆記試験、筆記実技試験、実技試験の3種類が行われた。

筆記試験については、出題範囲は広く多くの知識が必要とされた。

実技試験では、日当直で通常行われる基本的な検査が出題されたが、輸血検査のように制限時間や使用できる消耗品の個数に制限があり、実際の緊急検査の場を想定した試験となっているものがあつた。試薬の入れ間違いや判定ミスなどにより、やり直しを行うと最後までたどり着かない仕組みであつたため、検査の知識だけではなく正確でスムーズに検査を遂行する力が要求された。その他、検体系の試験ではピペット操作や顕微鏡の操作など含む内容が多くあつた。基本的な操作ではあるが、減点のポイントは多く、正確で過不足ない操作を行う必要があつた。

● まとめ

今回の試験は、3名とも合格することができた。

受験に向けての準備により緊急検査に関わる多くの知識や技術を身につけることができた。また、実技試験では客観的に評価されることにより、普段自分では気付けない問題点を知ることができた。これらの過程で得られたものは、今後の日常業務や日当直業務に直結するものと思われる。

緊急検査では、一般、生化学、血液、輸血、微生物、生理の幅広い知識と技術が必要であるが、当院では高度外傷センターの開設もあり、緊急検査の需要が一層高まっている。本資格の取得によって緊急検査に必要な知識や技術の向上が図られ、より質の高い緊急治療に貢献し、加えて今後検査件数の増加と発展にもつながると考える。

* 日本臨床検査医学会、公益社団法人 日本臨床検査同学院
緊急臨床検査士資格 認定【2108年9月2日】